

# さんすうテスト 1ねん

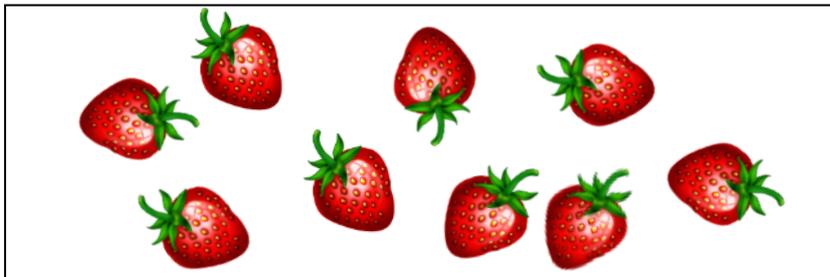
くみ なまえ

知識・技能	思考・判断・表現	合計
/ 70	/ 30	/ 100

※たしかめてみよう

《かずと すうじ》

1 かずを かぞえて すうじで かきましょう。【知識・技能】(3点)



□

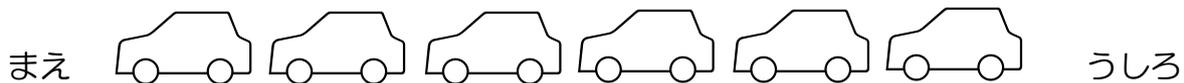
《なんばんめ》

2 いろを ぬりましょう。【知識・技能】(4点×2問)

(1) まえから 4だいめ

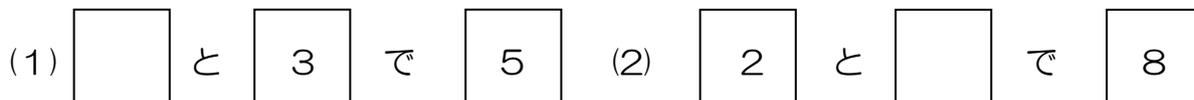


(2) まえから 3だい

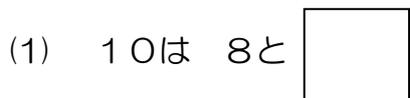


《いくつと いくつ》

3  に かずを かきましょう。【知識・技能】(3点×2問)



4  の なかに かずを かきましょう。【知識・技能】(3点×2問)



《たしざん(1)》

5 いくつに なるでしょう。【知識・技能】(3点×2問)

(1) ケーキは あわせて いくつでしょう。



5こ



3こ

こたえ

こ

(2) はなを もらうと いくつに なるでしょう。



2ほん あります



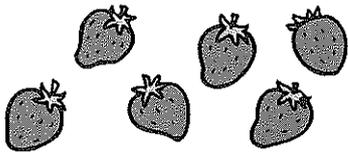
4ほん もらいました

こたえ

ほん

《ひきざん(1)》

6 のこりは いくつに なるでしょう。【知識・技能】(3点)



6こ

3こ たべると のこりは

こ

《たしざん ひきざん》

7 けいさんを しましよ。【知識・技能】(2点×8問)

(1)  $10 + 7 =$

(2)  $11 + 8 =$

(3)  $6 + 5 =$

(4)  $16 - 6 =$

(5)  $18 - 3 =$

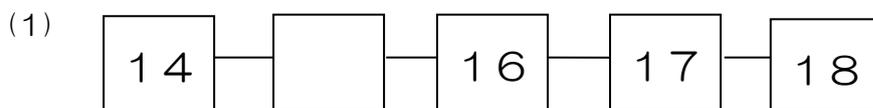
(6)  $13 - 7 =$

(7)  $8 + 2 + 3 =$

(8)  $9 - 4 - 2 =$

《10より おおきい かず》

8  に あうかすを かきましよ。【知識・技能】(3点×2問)



《10より おおきい かず》

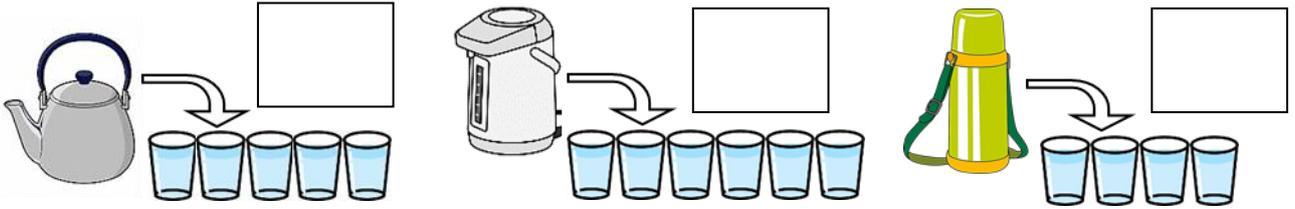
9 に かずを かきましょう。【知識・技能】(3点×2問)

- (1) 15は  と 7 (2)  は 10と 8

《おおきさくらべ》

10 おおく はいる じゅんに 1・2・3と  にばんごうを つけましょう。

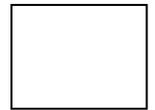
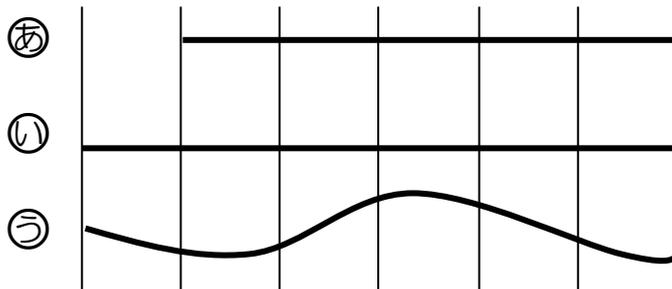
【知識・技能】(完答4点)



《おおきさ くらべ》

11 つぎの ㉞, ㉟, ㊱の なかで いちばん ながいのは どれでしょう。

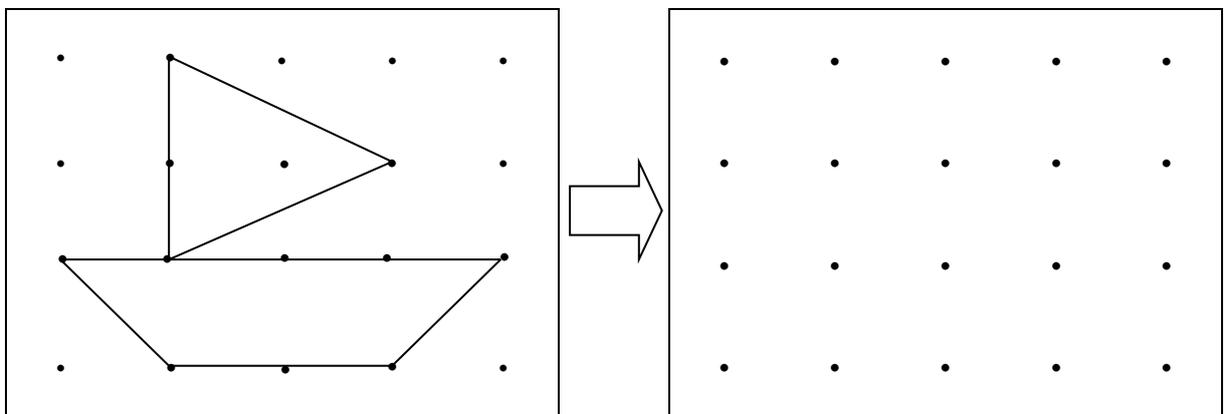
【知識・技能】(3点)



《かたちづくり》

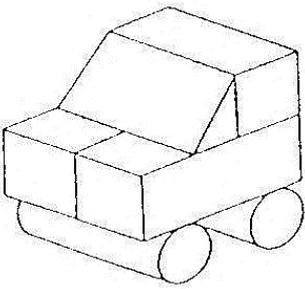
12 てんをつないで ひだりの かたちを つくりましょう。

【知識・技能】(完答3点)

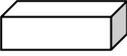
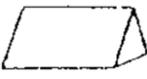


《いろいろな かたち》

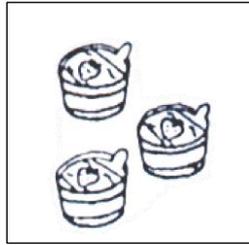
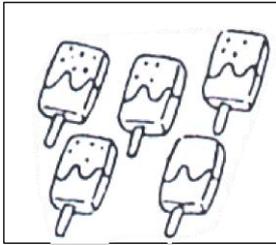
13 なんこ つかって いるでしょう。□ の なかに かずを かきましょう。



【思考・判断・表現】(4点×3問)

- (1)  の なかま  こ
- (2)  の なかま  こ
- (3)  の なかま  こ

14 ちがいは なんこでしょう。【思考・判断・表現】(式：3点, 答え：3点)



しき

こたえ

《3つの かずの けいさん》

15 こうえんで こどもが 6にん あそんで いました。4にん きました。

3にん かえりました。なんにんに なりましたか。

【思考・判断・表現】(式：3点, 答え：3点)

しき

にん



《たしざん》

16 □ のなかの かずになるように たて・よこ・ななめに ならんだ 2つのかずを ぜんぶみつけて ○ で かこみましょう。【思考・判断・表現】(完答6点)

10

3	1	2	1
9	3	3	8
2	4	5	3
3	7	5	6

あと 3こ あるよ

# さんすうテスト 1ねん

くみ なまえ

知識・技能	思考・判断・表現	合計
/ 70	/ 30	/ 100

※たしかめてみよう

《かずと すうじ》

1 かずを かぞえて すうじで かきましょう。【知識・技能】(3点) 【97.6%】



9 こ

かぞえまちがえないように、しるしをつけて、じゅんにかぞえよう

《なんばんめ》

2 いろを ぬりましょう。【知識・技能】(4点×2問)

(1) まえから 4だいめ 【91.1%】

○だいめは、1だいだけいろをぬる。



(2) まえから 3だい 【89.6%】



《いくつと いくつ》

3 □ に かずを かきましょう。【知識・技能】(3点×2問)

【97.0%】

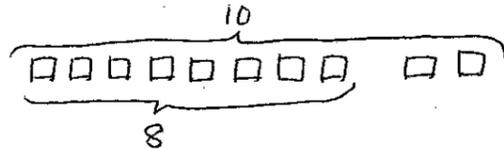
(1)  $\boxed{2}$  と  $\boxed{3}$  で  $\boxed{5}$  (2)  $\boxed{2}$  と  $\boxed{6}$  で  $\boxed{8}$

○○      ○○○      ○○○○○      ○○      ○○○○○○

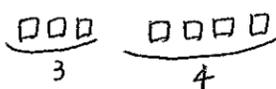
【94.1%】

4 □ の なかに かずを かきましょう。【知識・技能】(3点×2問)

(1) 10は 8と  $\boxed{2}$  【83.7%】



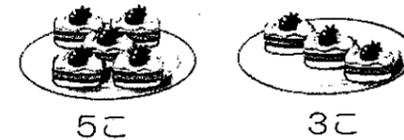
(2)  $\boxed{7}$  は 3と 4 【76.9%】



《たしざん(1)》

5 いくつに なるでしょう。【知識・技能】(3点×2問)

(1) ケーキは あわせて いくつでしょう。【98.8%】



5+3=8 こたえ  $\boxed{8}$  こ  
「あわせて」は たしざん

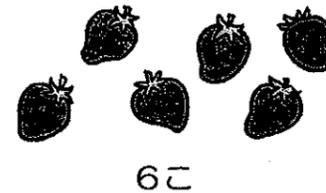
(2) はなを もらうと いくつに なるでしょう。【93.8%】



2+4=6 こたえ  $\boxed{6}$  ほん  
「もらうと」もふえる たしざんだね

《ひきざん(1)》

6 のこりは いくつに なるでしょう。【知識・技能】(3点) 【94.7%】



たべるとへるね 「のこり」はひきざん  
3こ たべるとのこりは  $\boxed{3}$  こ  
6-3=3

《たしざん ひきざん》

7 けいさんを しましょう。【知識・技能】(2点×8問)

(1)  $10 + 7 = 17$  【96.1%】 (2)  $11 + 8 = 19$  【91.4%】

(3)  $6 + 5 = 11$  【97.0%】 (4)  $16 - 6 = 10$  【96.4%】

(5)  $18 - 3 = 15$  【92.6%】 (6)  $13 - 7 = 6$  【80.7%】

(7)  $8 + 2 + 3 = 13$  【96.7%】 (8)  $9 - 4 - 2 = 3$  【91.4%】

3つのかずのけいさんは、まえからじゅんにけいさんしよう。

《10より おおきい かず》

8 □ に あうかずを かきましょう。【知識・技能】(3点×2問)

(1)  $\boxed{14} \xrightarrow{+1} \boxed{15} \rightarrow \boxed{16} \rightarrow \boxed{17} \rightarrow \boxed{18}$  【98.5%】  
→ 1ずつふえている

(2)  $\boxed{13} \rightarrow \boxed{12} \rightarrow \boxed{11} \rightarrow \boxed{10} \rightarrow \boxed{9}$  【98.8%】  
→ 1ずつへっている

《10より おおきい かず》

9 □に かずを かきましょう。【知識・技能】(3点×2問)

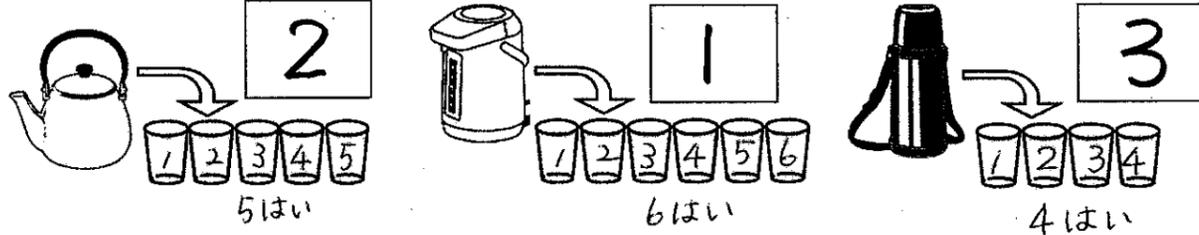
- (1) 15は **8** と 7 【82.5%】  
 (2) **18** は 10と 8 【84.6%】

《おおきさくらべ》 【91.1%】

10 おおく はいる じゅんに 1・2・3と □にばんごうを つけましょう。

【知識・技能】(完答4点)

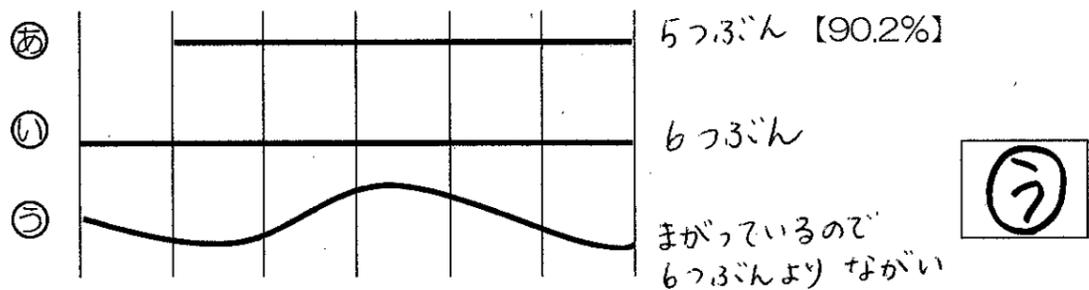
6はいが 1ばんおおい  
 なんはいか すうじをかくと まちがえないよ



《おおきさ くらべ》

11 つぎの ㉞, ㉟, ㊱の なかで いちばん ながいのは どれでしょう。

【知識・技能】(3点)

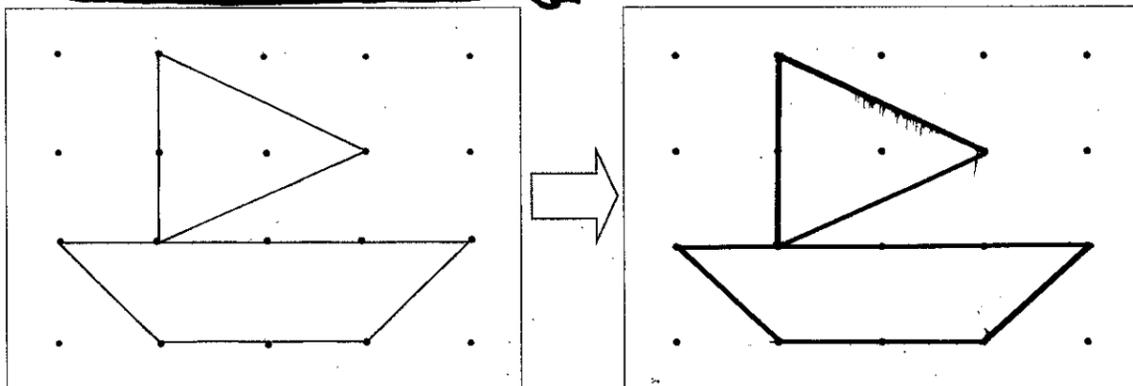


《かたちづくり》

12 てんを つないで ひだりの かたちを つくりましょう。 【95.0%】

【知識・技能】(完答3点)

てんから てんまで まっすぐ ひく



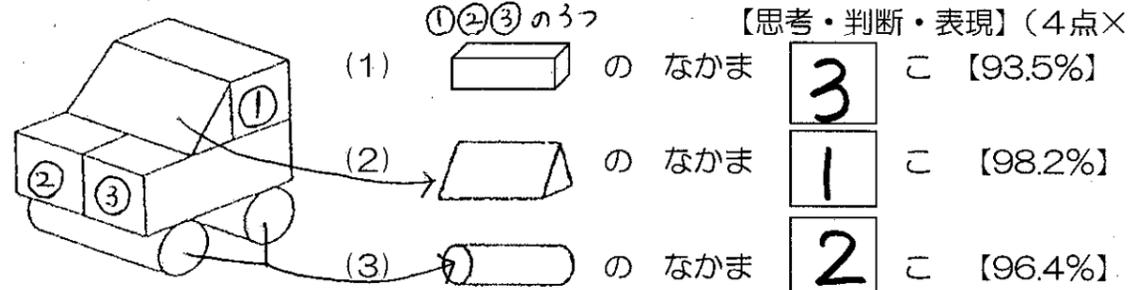
※やってみよう

なまえ

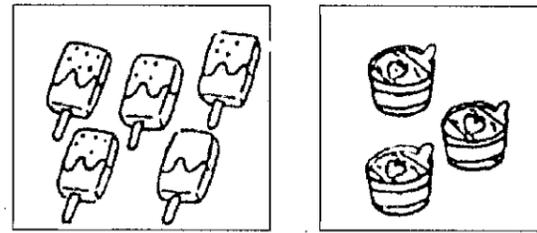
《いろいろな かたち》

13 なんこ つかって いるでしょう。□の なかに かずを かきましょう。

【思考・判断・表現】(4点×3問)



14 ちがいは なんこでしょう。【思考・判断・表現】(式:3点, 答え:3点) 【75.7%】



しき  $5 - 3 = 2$

こたえ **2** こ

【76.0%】

《3つの かずの けいさん》

15 こうえんで こどもが 6にん あそんで いました。 4にん きました。

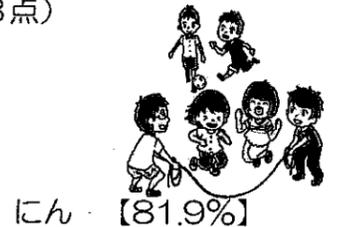
3にん かえりました。なんにんに なりましたか。【84.9%】  
 ふえるので たしざん  
 へるので ひきざん

【思考・判断・表現】(式:3点, 答え:3点)

しき  $6 + 4 - 3 = 7$

10 まえからじゅんに けいさんする

**7** にん



《たしざん》

16 □のなかの かずになるように たて・よこ・ななめに ならんだ 2つのかずを ぜんぶみつけて ○で かこみましょう。【思考・判断・表現】(完答6点)

**10**

3	1	2	1
9	3	3	8
2	4	5	3
3	7	5	6

あと 3こ あるよ

【79.5%】

基礎学力調査(1年)集計表

調査人数 307 人

番号	問題	正答	R4年度 正答率	↑ ↓	R3年度 正答率	R2年度 正答率	主な誤答例	無答率
1	いちごの数は	9こ	98.0		97.6	97.6	8, 10	0.3
2	(1) 前から4台目	略	82.4	↓	91.1	89.6	前から4台を塗る	0.7
	(2) 前から3台	略	88.3		89.6	82.9	前から3台目のみを塗る, 後ろから3台を塗る	0.7
3	(1) □と3で5	2	98.0		97	95.7	4	0.0
	(2) 2と□で8	6	93.2		94.1	93.3	5, 3, 7, 8	0.0
4	(1) 10は8と□	2	78.8	↓	83.7	85.1	18, 1	0.7
	(2) □は3と4	7	76.5		76.9	76.3	1, 2, 9, 6	0.7
5	(1) ケーキ	8こ	99.0		98.8	97.6	6	0.0
	(2) 花束	6ぼん	94.5		93.8	97.1	2, 0	0.0
6	いちごの残りの数	3こ	97.1		94.7	97.1	6, 9	0.0
7	(1) 10+7=	17	97.7		96.1	96.5	3, 8, 13, 16	0.0
	(2) 11+8=	19	88.9		91.4		3, 18, 9, 13	0.0
	(3) 6+5=	11	98.4		97	96.3	1	0.0
	(4) 16-6=	10	95.1		96.4	95.2	21, 9, 4, 14	0.7
	(5) 18-3=	15	89.3		92.6		21, 16, 12, 10	0.0
	(6) 13-7=	6	90.9	↑	80.7	92.3	7, 5, 1, 20	1.0
	(7) 8+2+3=	13	96.4		96.7	96.5	4, 18, 5, 2	0.0
	(8) 9-4-2=	3	91.2		91.4	89.9	4, 2, 7, 13	0.7
8	(1) □に数を書きましょう	15	98.4		98.5	97.6	5, 13	0.3
	(2) □に数を書きましょう	10	97.1		98.8	98.4	1	0.3
9	(1) 15は□と7	8	77.5	↓	82.5	85.3	5, 7, 3, 10	2.9
	(2) □は10と8	18	83.1		84.6	86.1	16, 2, 8, 9	2.9
10	多く入る順に	2,1,3	89.3		91.1	89.3	(2, 3, 1), (5, 6, 4コップの数を書く), (3, 2, 1), (2, 1, 4)	0.0
11	いちばん長いのはどれ	う	87.6		90.2	99.1	い	1.0
12	点をつなぎ左の形を作る	解答解説を参照	91.2		95	89.6		0.3
13	(1) 四角の仲間	3こ	91.9		93.5	94.1	4, 0, 2	0.0
	(2) 三角の仲間	1こ	97.4		98.2	98.4	0, 4, 2, 1	0.0
	(3) 丸の仲間	2こ	97.4		96.4	98.7	0	0.0
14	式 ちがいは何個	5-3(=2)	72.3		75.7	83.7	5+3, 3-5, 6-3, 6+3	0.3
	答	2こ	73.0		76	82.9	8, 3	0.3
15	式 何人になりましたか	6+4-3(=7)	80.1	↓	84.9	86.4	6+4, 6+4+3, 6-3, 6+3	0.0
	答	7にん	82.1		81.9	84.3	13, 10, 3, 2	0.3
16	10になるように○でかこむ	略	73.0	↓	79.5	80.5	まだあるものに気づけない, 4と6, 並んでいない数字を囲み4つ以上選ぶ	1.6

たしかめてみよう

やってみよう

※矢印は、昨年度比4ポイント以上の増減に対して ↑ ↓ で表示

# 考察と分析・授業提案（小1年）

## ○ 考察と分析

昨年度と比べ、正答率が下がった問題は33問中23問であった。特に文章題は2問中2問が、昨年度から4%以上下がる結果となった。たし算・ひき算の計算問題では、8問中4問上がり、その中でも繰り下がりのある計算では、10%以上上がる結果となった。このことから、基本的な計算技能は定着しているが、問題文の数値の意味をよく考えずに立式していることが考えられる。問題場面を具体化し、どの数量がどのように対応するのかを捉えることができるようにする必要がある。そのためには、図を用いたり、数図ブロックなどを具体的に操作したりすることが重要であると考えられる。

9	□	に	かずを	かきましょう。【知識・技能】（3点×2問）	
(1)	15は	□	と	7	解答 8
	正答率	77.5%	(昨年度	82.5%)	無答率 2.9% 誤答例 5, 7, 3, 10
(2)	□	は	10と	8	解答 18
	正答率	83.1%	(昨年度	84.6%)	無答率 2.9% 誤答例 16, 2, 8, 9

設題9は、「数の合成・分解」に関する問題である。昨年度に比べて、(1)の分解に関する問題では5%下がり、(2)の合成に関する問題では、1.5%下がった。また、無答率がどちらも2.9%と他の問題に比べて圧倒的に高いことが分かった。原因の一つとして、数図ブロックの個数で「15個は8個と7個に分けられる」が理解できても、数として「15は8と7」を理解できていないことが考えられる。また、誤答例を見ると、正答からかけ離れた数字を答えている児童がいる。このことから、言語的理解が難しく、何を聞かれているか、与えられた数字を使ってどう考えたらいいのかが分かっていないといえる。

## ○ 授業提案 ひきざん(2)(かずあてげえむ)(教科書P118)

数の合成・分解では、具体物から数への橋渡しを丁寧におさえて取り扱っていく必要があると考え、本授業を提案する。今回はp118「ひきざん(2)」「かずあてげえむ」の導入でこれらの問題を取りあげる。最終的な目標は、念頭操作で計算できることであるが、念頭操作が困難に感じる児童のために数図ブロックを取り入れて、「操作→イメージ化→ことば(記号等を含む)」という過程を丁寧に扱う。

かずあてげえむをひきざんでもやってみましょう

15は□と7

15は8と7

10は□と8

15個の数図ブロックを並べ、□の数量を隠し、何が問われているかを視覚的に示す。

実際に児童も数図ブロックを操作し、□がいくつであるか考える。

10-8=2としないために、10個と8個の数図ブロックを1列に並べ、全体が問われていることを視覚的に示す。